「がん関する教育」
を実施しました

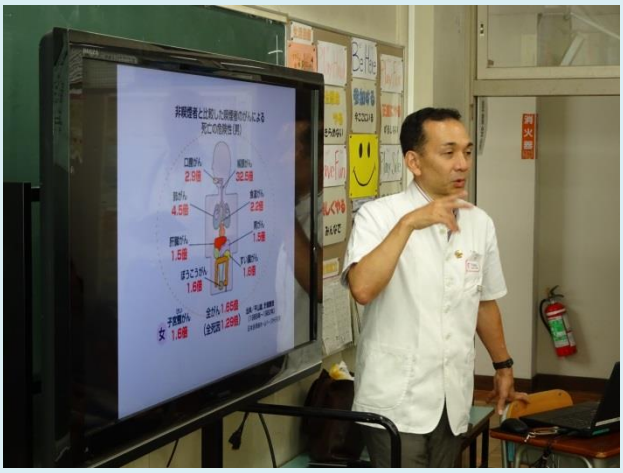
瑞穂町では１０月３日（火）、東京女子医科大学がんセンター長の林　和彦先生を瑞穂第五小学校にお招きし、授業及び研修を実施しました。

１　児童への授業

瑞穂第五小学校　６年１組

健康教育の一環として、がんやがんの予防についての正しい知識を学びました。また、家族でがんの予防について考え、家族全員が意識を高められることを学びました。

児童は、授業前にがんについて、「恐ろしい・こわい」、「命にかかわる」というイメージをもっていましが、授業を通して自らの生活を見直す意識をもつなど、命の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



２　学校の教員等への講演

授業後に林先生から授業を参観していた学校の教員等の大人に対して、研修を実施していただきました。

「がんを防ぐための新１２か条」などポイントを示していただきました。

３　児童がアンケートで回答した内容

質問1.あなたが、がんについて知っていること、感じているイメージは？

瑞穂町立瑞穂第五小学校のみなさんの回答

1	恐ろしい、こわい	16
2	死に至る、命にかかわる	14
3	いろいろな種類のがんがある	11
4	つらい、苦しい	5
5	治らない、治りにくい	5
6	いつなるかわからない	4
7	手術	4
8	早期発見が重要	2
9	転移	1
10	薬で髪が抜ける	1

質問2.
がん患者さんにはどんなつらさや苦しみがあると思いますか？

1	からだの痛みや苦しみ	21
2	自由に動けなくなる	10
3	手術や抗がん剤のつらさ	8
4	死の恐怖	6
5	家族や友人と離れての入院生活	6
6	いつも通りの毎日が送れなくなる	3
7	家族や周りの人に迷惑をかける	2

質問３.
あなたの大切な人ががんになったら、あなたは何をしますか？

- 花束をあげる
- その人のことを、思う
- がんについてもっと知る
- めっちゃお金を払って、いのちを取りとめようとする
- つらさを分かってあげる

授業後の感想

家族に、ぜひ検診に行くように勧めた。

検診を定期的に受けようと思った。

日々を大切に生きようと思った。

日常生活に気をつけることが大切。

今のうちからしっかり予防をしておかないといけない。

〔問い合わせ先〕
瑞穂町教育委員会教育部指導課
統括指導主事　稲冨　泰輝
電話 042-557-8014（直通）